

世界に挑む産業界・官界トップリーダーによる連続リレー講義

社会基礎学Ⅰ・Ⅱ

「グローバル化」と「地方の活性化」に
貢献できる輝く人材の育成

科目情報 総合科目（学士基盤科目）・総合科目Ⅲ

開設学期・曜日時限 土曜日集中 詳細は P8-P9 参照

科目責任者 坪内 孝司（教学デザイン室長） 他

本科目は、一般社団法人日本プロジェクト産業協議会（Japan Project-Industry Council：JAPIC）と本学との連携協定に基づき、平成23年度から新たに開設された科目です。産業界と連携した科目で、これほどの規模の科目は他大学にも類をみない、本学が全国に先駆けて初めて実施する科目です。

JAPICについて

一般社団法人日本プロジェクト産業協議会（Japan Project-Industry Council：JAPIC）は、1979年に産業界の複合組織として設立されました。以来、民間諸産業による業際的協力と産官学民の交流を通じて叡智を結集し、国民の安全安心と持続可能で豊かな社会づくりに向けて、産業・経済、環境・資源・エネルギー、教育、国土・防災・都市・地域計画等、立国の根幹に関わる事項の研究並びに実現活動を行うことにより、国家的諸課題の解決に寄与し、日本の明るい未来を創生することを目的として活動して参りました。現在39業種約224社の企業、地方自治体、団体、NPO等から構成され、年間延べ1万人の実務家が公益的な立場から、1. プロジェクトの企画・実現、2. 政府関係機関への政策提言、3. 産官学民交流のためのプラットフォーム形成等活動を行っています。

開設趣旨

筑波大学とJAPICとの連携協定に基づき、本科目を開設します。

世界では、新興国の急成長、産業や市場のボーダレス化、ICT等、先端技術の進歩などにより、人材・情報・資金が国境を越えて行かっています。同時に国は勿論のこと、国内の地域や都市の間でも競争が激化しています。このため、地球環境問題や資源・エネルギー問題など、世界にまたがるグローバルな課題に的確に対処していくことが求められています。また、少子高齢化と人口減少が急速に進んでいるわが国で、豊かな生活と産業の発展の鍵を握るのは、地方の活性化であり、地方で活躍し、輝く若い人材が求められています。

この激動の時代を生き抜く学生の皆さんが、「国際社会と地域社会に貢献する」という高い志を持って研鑽に励むためには、この講義で説く『社会基礎学』の習得が必要不可欠と考えます。本リレー講義では、社会基礎学を探究し、全学群生を対象に、今後の大学生活で身に付けるべき知識、教養、想像力や構想力の向上をサポートします。

具体的には以下の6分野にプライオリティを置き、産業界・官界・政界のトップリーダーがリレー講義を実施、皆さんとともに考えます。

- ①「グローバル化と地域の日本のあり方」、②「政治・政策」、③「安全保障・憲法」、④「経済・産業」、⑤「環境・資源・エネルギー」、⑥「世界／アジア」（順不同）

また、大学院学生を対象に、産業界のトップリーダーによるアドバンス・ディスカッションコースを開設します。最新の社会、国際、ビジネス等分野の課題を捉え、議論を行い、深く考察していきます。

学生に期待すること

「社会基礎学」というこの科目名からの印象は、例えば社会系の講義だろう、自分にはあまり関係がなさそうだな、というものではないでしょうか？ しかし、この講義に出席してみると、その印象は徐々に変わり、講義の終盤には、自分の専門分野の社会を通してのかかわりがおぼろげながらもわかってくるのではないかと思います。そして、知識のすそ野が格段に広がったことに気づきます。2019年度以降に入学する学士課程の当初に受講する総合科目「学問への誘い」では、各自の専門分野への理解を深めるとともに、そこから広がる様々な分野にも複眼的かつ俯瞰的な眼を養うことの重要性を説いています。「社会基礎学」は、社会の側から様々な学問への気づきを喚起しようとしています。人の営みは社会を形成しますから、まさにここに光を当て、産業界・官界で活躍されている世界に挑戦するトップリーダーからの現代のホットでリアルな話を、実体験を交えながらお話しいたします。「グローバル化とは何か」「日本国内におけるグローバル化とは」「地域社会の発展に必要なもの」を中心に据え、論を展開します。本講義の受講により様々な課題に強い関心を持つとともに、グローバル化と地方創成の時代に果敢にチャレンジし、活躍できることを期待します。



JAPIC会長
宗岡 正二
MUNEOKA SHOJI
日本製鉄(株) 相談役

世界に挑む産業界・官界 トップリーダーによる 連続リレー講義

(令和2年度)



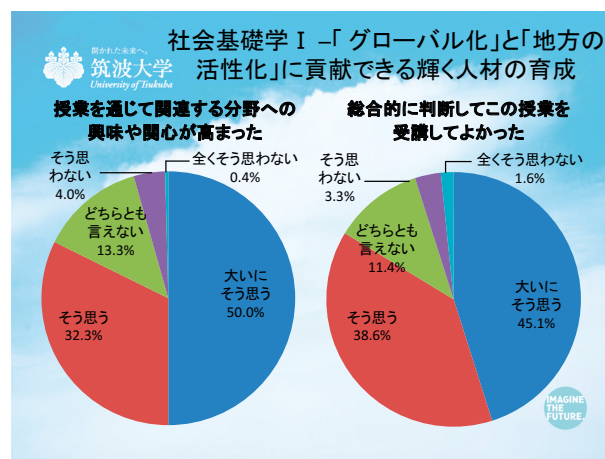
春C 【総合科目(学士基盤科目)】社会基礎学Ⅰ-「グローバル化」と「地方の活性化」に貢献できる輝く人材の育成

学期	講義日時	講義タイトル	講義種別	所属・役職	講師名
春学期Cモジュール	7月4日 9:50-18:00	導入講義Ⅰ	通常講義	帝京大学 特任教授	徳永 保
			通常講義	筑波大学 教授 教学デザイン室長	坪内 孝司
		導入講義Ⅱ	通常講義	一般社団法人 日本プロジェクト産業協議会 (JAPIC) 常務理事	三浦 潔司
		【パネルディスカッション】 【第1部】 グローバル化とは何か？ グローバル化の中で日本は？	PD-パネリスト	石破茂衆議院議員 政策担当秘書	吉村 麻央
			PD-パネリスト	21世紀政策研究所 事務局長	太田 誠
			PD-パネリスト	一般社団法人 日本プロジェクト産業協議会 (JAPIC) 常務理事	三浦 潔司
		【パネルディスカッション】 【第2部】 学生は何を学び、何を身に付けるべきか？	PD-パネリスト	帝京大学 特任教授	徳永 保
			コーディネーター	筑波大学 教授 教学デザイン室長	坪内 孝司
		総合商社とサステナビリティ	通常講義	丸紅株式会社 顧問	島崎 豊
		国際協力の考え方、およびその実践を通じたグローバル人材の必要要素について	通常講義	(独)国際協力機構(JICA) 中東・欧州部長	坂本 威午
	7月11日 11:00-17:50	自然資本を活用した地域経営	通常講義	パシフィックコンサルタンツ株式会社 社長室 兼 戦略推進部	石崎 晶子
		モビリティ革命とMaaS (マース)	通常講義	一般財団法人計量計画研究所 理事 兼 研究本部企画戦略部長	牧村 和彦
		グローバル化と戦争	通常講義	共同通信社編集局総務	沢井 俊光
		都市開発とエリアマネジメントの実践 ～日本橋エリアを事例として～	通常講義	三井不動産株式会社 開発企画部 開発企画グループ長 兼 環境創造グループ長	雨宮 克也

08



2019年度アンケート結果から (受講者約285名)



秋 AB 【総合科目Ⅲ】社会基礎学Ⅱ―「グローバル化」と「地方の活性化」に貢献できる輝く人材の育成

学期	講義日時	講義タイトル	講義種別	所属・役職	講師名
秋学期 AB モジュール	10月3日 13:30-16:30	導入講義	通常講義	一般社団法人 日本プロジェクト産業協議会 (JAPIC) 常務理事	三浦 潔司
		【パネルディスカッション】 【第1部】 グローバル化とは何か？ グローバル化の中で日本は？	PD-パネリスト	株式会社日建設総合研究所 理事	石川 貴之
			PD-パネリスト	株式会社三菱総合研究所 参与 プラチナ構想ネットワーク 事務局長	平石 和昭
		【パネルディスカッション】 【第2部】 学生は何を学び、何を身に付けるべきか？	PD-パネリスト	一般社団法人 日本プロジェクト産業協議会 (JAPIC) 常務理事	三浦 潔司
			コーディネーター	筑波大学 教授 教学デザイン室長	坪内 孝司
	10月10日 13:30-16:30	国内・国際経済の最近のトピックス	通常講義	読売新聞大阪本社 編集委員	中村 宏之
		未来の国土づくりを担う皆さんへ	通常講義	国土交通省 顧問	森 昌文
	10月17日 13:30-16:30	日本外交の現状と課題	通常講義	外務省 外務審議官	森 健良
		企業経営の現状・課題と戦略	通常講義	日本製鉄㈱ 執行役員 人事労政部長	十河 英史
	11月21日 13:30-16:30	日本の宇宙政策について	通常講義	内閣府 宇宙開発戦略推進事務局長	松尾 剛彦
		日本の安全保障環境と防衛政策	通常講義	防衛省 整備計画局長	鈴木 敦夫
	12月5日 13:30-16:30	地方自治の重要性とは何か？	通常講義	前長岡市長・元全国市長会会長	森 民夫
		【パネルディスカッション】 我が国が直面する構造改革と社会資本整備	PD-パネリスト	前長岡市長・元全国市長会会長	森 民夫
			PD-パネリスト	国土交通省 建設流通政策審議官	中原 淳
			PD-パネリスト	株式会社みずほ銀行 執行役員 産業調査部長	中村 浩之
			コーディネーター	筑波大学 教授 教学デザイン室長	坪内 孝司



2019年度アンケート結果から（受講者約65名）

